

技術や戦略を競い合う

火の国全国ゲートボール大会開催



一打一打集中して競技を行う益城町の選手

秋晴れの10月2日、町民グラウンドで第29回火の国全国ゲートボール大会益城町大会が行われました。開会では熊本県ゲートボール連合会の前田秋雄会長が「選手の間と交流を深め、思い出深い大会になってもうよう期待します」とあいさつ。各県から集まった500人(100チーム)

のゲートボール選手が、全20コートで試合を行い、日ごろの練習で培ったチームワークや戦略、技術を競い合うと会場は歓声に包まれました。それぞれのコートでは各県選手間の交流も行われました。午前9時から午後4時までに各コートで全10試合行われ、盛況のうちに閉会しました。

晴れの100歳を表彰

はまだ
浜田3町内の濱田キクエさん

くまもと成仁病院で10月11日、濱田キクエさんが100歳の誕生日を迎えられ、同月16日、100歳表彰を受けられました。

濱田さんは施設関係者や息子の義紀さんが見守る中、住永町長から100歳表彰の表彰状と敬老祝い金を受け取られました。

出身が鹿児島県の濱田さんに町長は「町で17番目の100歳です。熊本弁はわからんかもしれんばってん、長生きせなんですよ。おめでとうございませう」と話すと濱田さんは町長の顔を見つめていらっしゃいました。

表彰おめでとうございます。これからもお体に気をつけてお過ごしください。



町長の持つ表彰状を見つめる濱田さん



県から表彰を受けられた宮崎さん

これからも楽しみを...

熊本県ご長寿かがやきよかライフ表彰

木山にお住まいの宮崎ヤスノさんが9月14日、県知事から「熊本県ご長寿かがやきよかライフ表彰」を受けられました。この表彰は、高齢者の生きがいと健康づくりの意識高揚のため行われています。食事などに気を付け、健康的な生活を送られていることで表彰されました。

宮崎さんは102歳と高齢ですが、とてもお元気で、毎日自分で筆を執り、短歌を詠まれるほど。長生きの秘訣を伺うと「家族円満が一番。朝昼晩のご飯を家族一緒に食べています」と宮崎さん。「よか人生を送らせてもらいました。これからも楽しみを見つけていきたい」と続けられました。